

問題

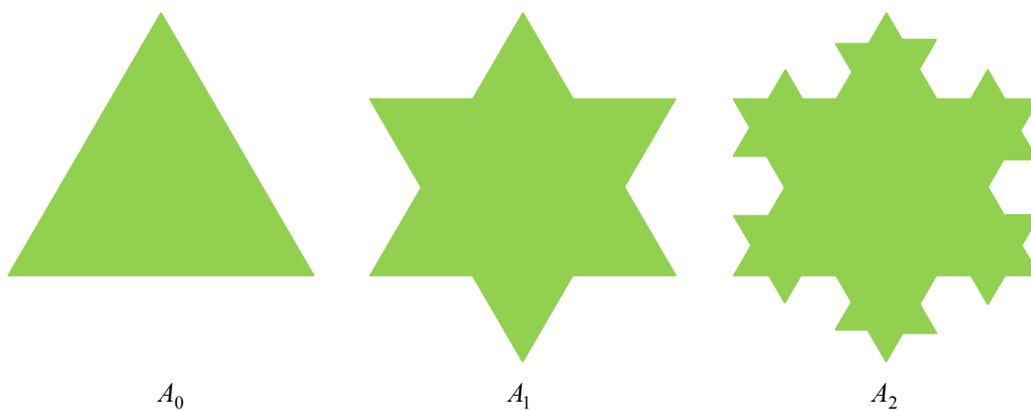
面積 1 の正三角形 A_0 から始めて、図のように図形 A_1, A_2, \dots を作る。

ここで、 A_n は A_{n-1} の各辺の三等分点を頂点にもつ正三角形を A_{n-1} の外側につけ加えてできる図形である。

このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 図形 A_n の辺の数を求めよ。
- (2) 図形 A_n の面積を S_n とするとき、 $\lim_{n \rightarrow \infty} S_n$ を求めよ。

(香川大学) 結構有名な問題

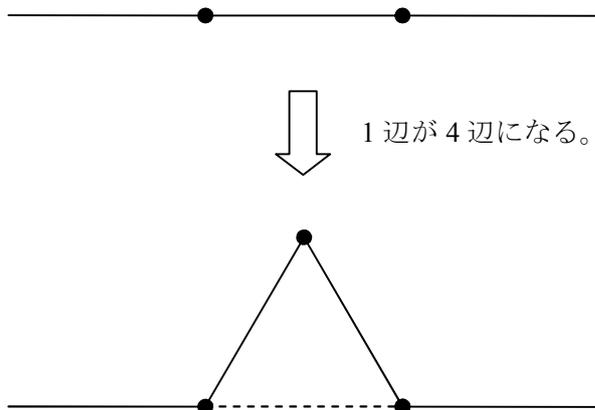


解

(1)

図形 A_{n+1} は、図形 A_n の各辺上に、その 3 等分点を頂点とする正三角形を 1 個追加した図形である。図形 A_n の辺の数を a_n とすると、各辺の数が 4 倍になるから、

$$a_{n+1} = 4a_n$$

よって、 a_n は初項 $a_0 = 3$ 、公比 4 の等比数列である。ゆえに、 $a_n = 3 \cdot 4^n$ 

(2)

正三角形がつけ加えられるたびに、つけ加えられる正三角形の辺の長さが $\frac{1}{3}$ 倍になるから、正三角形がつけ加えられるたびに、つけ加えられる正三角形の面積は $\left(\frac{1}{3}\right)^2 = \frac{1}{9}$ 倍になる。図形 A_n の面積を S_n とすると、図形 A_1 ができるとき、つけ加えられる正三角形 1 個の面積は、 $\frac{1}{9}S_0$ 図形 A_2 ができるとき、つけ加えられる正三角形 1 個の面積は、 $\frac{1}{9} \times \frac{1}{9}S_0 = \left(\frac{1}{9}\right)^2 S_0$ 図形 A_3 ができるとき、つけ加えられる正三角形 1 個の面積は、 $\frac{1}{9} \times \left(\frac{1}{9}\right)^2 S_0 = \left(\frac{1}{9}\right)^3 S_0$

⋮

図形 A_n ができるとき、つけ加えられる正三角形 1 個の面積は、 $\left(\frac{1}{9}\right)^n S_0$

よって、

図形 A_{n+1} ができるとき、

$$\text{図形 } A_n \text{ につけ加えられる正三角形 1 個の面積} = \left(\frac{1}{9}\right)^{n+1} S_0$$

図形 A_n につけ加えられる正三角形の個数 = 図形 A_n の辺の数 = $a_n = 3 \cdot 4^n$

また、条件より $S_0 = 1$

よって、

$$\begin{aligned} S_{n+1} &= S_n + \left(\frac{1}{9}\right)^{n+1} S_0 \times 3 \cdot 4^n \\ &= S_n + \frac{1}{3} \cdot \left(\frac{4}{9}\right)^n \end{aligned}$$

ここで、

$$b_n = S_{n+1} - S_n = \frac{1}{3} \cdot \left(\frac{4}{9}\right)^n \quad (n=0,1,2,\dots) \text{ とおくと、} b_n \text{ は } S_n \text{ の階差数列だから、}$$

$$\begin{aligned} S_n &= S_0 + \sum_{k=0}^{n-1} b_k \\ &= S_0 + \sum_{k=1}^n b_{k-1} \\ &= S_0 + \sum_{k=1}^n \frac{1}{3} \cdot \left(\frac{4}{9}\right)^{k-1} \\ &= S_0 + \frac{1}{3} \sum_{k=1}^n \left(\frac{4}{9}\right)^{k-1} \\ &= 1 + \frac{1}{3} \cdot \frac{1 - \left(\frac{4}{9}\right)^n}{1 - \frac{4}{9}} \\ &= 1 + \frac{3}{5} \left\{ 1 - \left(\frac{4}{9}\right)^n \right\} \end{aligned}$$

ゆえに、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} S_n = 1 + \frac{3}{5} = \frac{8}{5}$$

補足

実際に問題を解くときは数字を代入し、問題を具体化して考え進めること。

これはすべての問題について言える。